

■第3回 江別市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)策定に係る協議会でいただいた  
ご意見の概要 <令和5年8月23日実施>

【1 地球環境】

- 成果指標について、環境施策、家庭等、事業者でそれぞれの分野で出せると良いのではないかと。
- 公共施設を新設する際には、ぜひ ZEB(ゼブ)化してもらい、市民が ZEB 化した施設を見た際には、ZEB 化はこうすれば良い、あるいは、エネルギー効率が良くなったということを示してほしい。
- ZEH(ゼッチ)に取り組んだ住宅を建てた場合に、カーボンニュートラル住宅ローンを活用できるのと、LED 化や太陽光発電、保有車両の適正化、電動車、J-クレジットの活用など、金融機関で取り組んでいる様々な支援策が参考になる。
- 教育施設等での化石燃料使用を天然ガスに転換すると大幅に CO2 を削減できる。国の補助金を活用して機器費や工事費、撤去費の財源に充てることができ、CO2 削減やレジリエンス強化に貢献できる。近年では、病院、老健施設、食品製造工場で実績があり、削減した CO2 については、J-クレジット化した法人もある。
- 窓の断熱、高効率空調機等の記述について、詳しく記載した方が分かりやすい。
- 自転車利用への優遇や、インフラ整備の一部として自転車道路を整備していただければ良いと思う。
- 率先実行の取組状況を広く共有し、実行による成果や気づきについて、事業者や市民に分かりやすく伝える記述を追加してほしい。
- 家庭でできる省エネ行動やエネルギーの効率的な利用に関する情報を、市民や民間団体等の協力を得ながら、家庭への省エネ行動促進の働きかけについての記述を追加してほしい。
- 家庭への太陽光発電の普及促進と住宅の省エネルギー性能の向上について、国の住宅説明義務制度等も考慮した記載を追加してはどうか。
- 剪定枝等をバイオマスとして、木質バイオマス発電で活用する文言を入れることを検討しても良いのではないかと。
- 脱炭素まちづくりの推進の施策の中で、炭素の固定に役立つ木材利用の意義についても記載した方が良いのではないかと。
- 環境省の「ゼロカーボンアクション 30」には、電気製品のプラグをコンセントから抜くことを心がける記載があるが、コンセントから抜かない方が良い場合もあるので、例示方法を検討した方が良いのではないかと。
- 住宅へのHEMS(ヘムス)の導入の検討について記載があるが、例えば、電力会社によっては、30分ごとの電力使用量が確認できる場合があるので、その活用方法を知らせたりするなど、HEMS よりハードルの低いものの方が実現性が高いため、記載内容を検討した方が良いと思う。
- 市民・事業者に期待される取組の中で、地域の環境活動などを応援する記述を追加してはどうか。
- 国では、「デコ活」(脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動)に力を入れ出したこともあり、市民・事業者の取組には、この内容も加味した方が良いのではないかと。

## 【2 資源循環】

- グリーン購入の推進の施策に、エシカル消費の内容を追加してはどうか。
- 古紙パルプの減少などから、再生紙の生産が減少しており、間伐材の利用なども重要であるため、事務用紙の適切な利用や環境に配慮された用紙を使用するなどの表現を加えて、記載内容を変えてみてはどうか。

## 【3 自然環境】

- 環境教育や環境学習と関係する部分であるが、環境目標で生物多様性を謳っているのに、具体の記載を増やすことができないだろうか。
- 湿地は、生物多様性の宝庫なので、水辺空間の要素に湿地を含めて良いのではないか。

## 【5 環境教育・パートナーシップ】

- 小学生や中学生といった若い人たちが、環境に対する意識を持ってくれると良いので、教育委員会と連携して事業を進めてもらいたい。
- 情報発信については、あらゆる機会をとらえて広く発信した方が良い。
- 市民・事業者に期待される取組の中で、日常生活では、節電や節水などの省エネルギー行動や、環境に配慮した購買行動(買い物)の実践、環境イベントへの参加も追加した方が良いのではないか。
- 事業者の取組の中で、環境マネジメントシステムの活用があるが、効率的に環境負荷を低減できるという説明を追加してはどうか。

## 【その他】

- 目指す将来像にある「美しいまち」の美しさについて、単に物理的に綺麗なまちだけではなく、心豊かに暮らす意味合いも含め、ネガティブな感じをなくし、幸せに生きるための支援の意味合いが感じられると良いのではないか。
- 用語解説の環境ラベルの例として、統一省エネラベルも掲載してはどうか。
- 用語解説にある環境マネジメントシステムについて、ISO14001 の他に、中小企業向けのエコアクション 21 や HES(北海道環境マネジメントシステムスタンダード)も記載した方が良いのではないか。

- 
- ※ ZEB(ゼブ)、ZEH(ゼッチ): Net Zero Energy Building(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)の略。断熱性能の向上と、高効率設備の導入により、大幅な省エネルギーを実現した上で、再生可能エネルギーを導入することで、建物で消費する年間のエネルギー収支ゼロを目指す建物。住宅では ZEH(ゼッチ)
  - ※ J-クレジット制度: 省エネ設備の導入や再生可能エネルギーの活用による CO2 等の排出削減量や、適切な森林管理による CO2 等の吸収量をクレジットとして国が認証する制度
  - ※ HEMS(ヘムス): Home Energy Management System(ホームエネルギーマネジメントシステム)の略。家庭で使用している電気機器の使用量を専用モニター等で「見える化」し、エネルギーを管理するシステム。商用ビル向けは BEMS(ベムス)、工場向けは FEMS(フェムス)
  - ※ エシカル消費: 消費者それぞれが各自にとっての社会的課題の解決を考慮したり、そうした課題に取り組む事業者を応援しながら消費活動を行うこと。環境への配慮では、エコ商品を選ぶ、社会への配慮では、寄付付きの商品やフェアトレード商品を選ぶ、人への配慮では、障がいがある人の支援につながる商品を選ぶ、地域への配慮では、地元の産品や被災地の商品を買う、生物多様性への配慮では、認証ラベルのある商品を選ぶ、など
  - ※ HES(エイチ・イー・エス): 国際規格である ISO14001 を基本とし、多くの中小企業や各種団体等、多くの組織が容易に取り組める環境マネジメントシステムとして、一般社団法人北海道商工会議所連合会が中心となり、経済団体、環境関係団体、行政機関(北海道・札幌市)の協力を得て構築し、より分かり易く、より安価で、より取組やすくしたもので、環境保全活動の取組と経営の安定を支援するためにつくられた環境規格